

天板 /BLANCO シンク コーディネート適合表 第1版 (2023年3月)

2023 new

2023 new

DEKTON

	Concrete	Black	Anthracite	Rock grey	Alu metallic	Volcano grey	Soft White	White	Tartufo	Coffee	Group
Danae ダナエ					◎		○	◎	○		D-3
Sirius シリウス	○	○	◎	○	○	○			○	◎	A-1
Bromo プロモ	○	◎		○		◎				○	A-4
Keon ケオン		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	C-7
Keranium ケラニウム		○		◎						◎	C-1
Kira キラ		○		◎			◎		○	○	A-7
Kelya ケリヤ		◎	◎								A-6
Laos ラウス		◎	◎								A-6
Kreta クレタ		○	○	○			◎	◎			B-3
Nilium ニリウム		○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	D-4
Aura 15 (22) オーラ	○	◎		○		◎	○	○	○	○	E-5
Entzo エンツォ		◎		○		○	◎	○	○		E-4
Natura 18 (22) ナチュラ	○	◎		○		◎	○	○	○	○	E-5
Rem レム		◎		○		○	◎	○	○		E-4
Opera オペラ	○	◎		○		◎	○	○	○	○	E-5
Laurent ローレン		◎	◎								A-6
Arga アルガ		◎		○		○	◎	○	○		E-4
Bergen ベルゲン	○	◎		○		◎	○	○	○	○	E-5
Albarium アルバリウム	○	○	◎	○	○	◎	○	○			E-2
Nacre ナクレ					◎		○	◎	○		D-3
Micron マイクロン		○		◎			◎		○	○	A-7
Umber アンバー		◎				○		◎			G-1
Awake アウエイク		◎		○		○	◎	○		○	D-5
Somnia ソムニア		◎						◎			A-9
Trance トランス		◎		○		○	◎	○		○	D-5

◎ おすすめ / ○ よい

コーディネートガイド

Group A ブラック系天板	A-1	プレーンな天板を活かし、メタリックなきらめきを重ねて華やかさをプラス。ブラウン系を合わせても。
	A-2	オールブラックの大人なコーディネートがおすすめ。天板を主役にしてシンプルにまとめるのがポイント。
	A-3	天板のさりげない模様を引き立てるのがおすすめ。黒で引き締めたり、柄を受け止めるグレー系を合わせても。
	A-4	ブラックとグレーの洗練されたグラデーションカラーを楽しむセレクト。ニュアンスのあるグレーのシンクは濃い色合いのキッチンとも相性がいい。
	A-5	存在感のあるマーブルを主役にしたコーディネート。コントラストカラーで落ち着きと華やかさを演出。
	A-6	ダイナミックな柄の天板を最大限に活かすコーディネート。シンクのきらめきをプラスすればより表情豊かに。
	A-7	色幅のある天板は、どんな色合いもオールマイティに受け止めてくれる。天板とシンクのカラーをリンクさせても。
	A-8	色柄が特徴的な天板には、立体感を引き出すモノトーンカラーでよりモダンな印象に。
	A-9	スタイリッシュな天板の個性を活かすシンプルなモノトーンカラーを合わせるのがベスト。シンクの黒と白でシャープな印象にまとめる。
Group B グレー系天板	B-1	特徴的な柄の天板を引き立てるブラックをセレクト。優しい印象に仕上げるならライトなカラーがおすすめ。
	B-2	ダークグレーのプレーンな天板には、ブラウンやグレーを合わせて馴染ませる。シンクのきらめきを取り入れても。
	B-3	濃淡のあるグレーの石目には、硬質な雰囲気と和らげる明るい色味を重ねてバランスを取って。
	B-4	細かな粒の入った天板の柄を活かし、ワントーン濃いシンクを合わせる。天板とシンクが自然と馴染むのでおすすめ。
	B-5	天板の趣ある風合いを活かし、ダークカラーのシンクで締める。温かみのある和のインテリアにもなじむコーディネート。
	B-6	個性的な柄を活かすコーディネート。ホワイト系のカラーを合わせ、明るくさわやかな印象に。
Group C 金属・石・メタリック系天板	C-1	金属系のテクスチャーには同系色でコーディネート。天板を引き立てて一体感のある仕上がりに。
	C-2	ブラウンの天板にはコントラストカラーを。インテリアに合わせ、ブラックまたはホワイトでコーディネート。
	C-3	石目の美しさを活かす黒と白でコントラストをつけ、ラグジュアリー感を演出。黒は統一感が出やすく、白は清潔な印象に。
	C-4	天板のブラウンやベージュとシンクのトーンをそろえ、上品で柔らかな印象に。上級者のグラデーションコーディネート。
	C-5	天板の細かな表情を活かし、トーンを落としたコーディネートで引き締まった印象に。
	C-6	天板の重厚感を活かしたブラウンカラーを楽しむコーディネート。天板のテクスチャーを引き立て、奥行きのある一体感を演出。
	C-7	落ち着いた雰囲気の天板には濃い色味をセレクト。天板のニュアンスカラーをさりげなく引き立てながらスタイリッシュにまとめる。
	C-8	トープグレーの柔らかなグラデーションをワントーンでまとめるコーディネート。色の濃淡や変化を楽しんで。
Group D ベージュ系天板	D-1	細かな柄のある優しいベージュには、ワントーン濃い同系色で合わせるとバランスが取りやすくおすすめ。
	D-2	トーンをそろえて一体感を演出。トレンドのアースカラーを活かした調和の取れたコーディネート。
	D-3	優しい色味の天板はホワイトで柔らかに仕上げる。またはニュアンスを活かした上品なコーディネートがおすすめ。
	D-4	ニュートラルカラーを活かし同系色コーディネート。またはコントラストをつけ、洗練された印象に。
	D-5	ブラック系やブラウン系でも合わせやすいカラーセレクト。天板のパターンが描く黒やブラウン、グレーなどとリンクする色を好みで。
	D-6	トラバーチン柄とリンクしたカラーのコーディネート。ワントーン濃い色でメリハリをつけても。
Group E ホワイト系天板	E-1	グレイッシュな天板にシンクのメタリックをリンクさせ、柄のプリズム感を引き立てたコーディネート。
	E-2	明るい白やニュアンスのあるグレー系の天板には、アクセントとなるダークトーンのシンクを選んでメリハリと立体感を。
	E-3	テラズ独特のパターンを活かし、柄の色に合わせたコーディネート。オーバーカウンターにすればカジュアルな収まりに。
	E-4	色幅や柄のある天板は同系色でまとめても、アクセントとなる引き締め色を合わせてもうまく馴染む。天板のベースカラーの違いでシンクの色を選ぶのがベスト。
	E-5	石目柄やテクスチャーのある白系の天板には、濃いシンクで引き締めたモノトーンコーディネートを。天板とシンクのコントラストが楽しめ、奥行きが出る。
	E-6	個性的な天板を主役にしたシンプルな組み合わせがおすすめ。ブラックまたはホワイト、インテリアに合わせて好みで。
	E-7	ニュアンスのあるトープカラーで全体をまとめたコーディネート。和と北欧をミックスさせたトレンドのジャパンディスタイルにも合わせやすい。
Group F 木目系天板	F-1	天然木の持つ優しい風合いがどんなカラーとも好相性。インテリアの雰囲気に合わせてシンクをフレキシブルに選べるのが魅力。
Group G カラー系天板	G-1	シンクはブラックまたはホワイトでシンプルに。トーンを抑えたトレンドのアースカラーを活かすコーディネート。
	G-2	目が覚めるようなビビッドカラーには、モノトーンのシンクが色味を引き立ててくれる。自分だけのオリジナルの組み合わせを楽しんで。